

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|--|------|---------|-------|------|
| 事務事業名 | 盛岡・北上川ゴムボート川下り大会開催事業 | | | 事業コード | 2262 |
| 所属コード | 49000 | 課等名 | スポーツ推進課 | 係名 | |
| 課長名 | 佐藤 大治 | 担当者名 | 佐藤 卓 | 内線番号 | 8432 |
| 評価分類 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理 | | | | |

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

| | | | | |
|------------|--|-------------------|----------|---|
| 総合計画 体系 | 施策の柱 | 活力ある産業の振興 | コード | 5 |
| | 施策 | 地域資源を生かした観光・物産の振興 | コード | 4 |
| | 基本事業 | 観光地づくりと観光客の誘致 | コード | 1 |
| 予算費目名 | 一般会計 7 款 1 項 3 目 盛岡ブランド推進事業(010 - 01) | | | |
| 特記事項 | | | | |
| 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 | 開始年度 | 平成 20 年度 | |
| 根拠法令等 | | | | |

(2) 事務事業の概要

緑豊かな盛岡市内を流れる北上川の四十四田ダムから南大橋までの約 11 キロの区間を、川からの眺望を楽しみながらゴムボートで下るイベント。大会では、競争しながら下るタイムレースとゆっくり自由に下るフリーレースを行っている。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

昭和 52 年に北上川をきれいにしようとする市民の有志によってはじめられた。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

ピーク時には 2,000 艇を超える参加があったが、現在では 1,000 艇程度の参加である。しかし、この大会を楽しみにしている参加者は多く、根強い人気がある。第 35 回大会では、第 34 回大会(平成 22 年度)において大会前夜の降雨・増水の影響により、大会の一部を中止したことを受け、監視員・救助員を増員し、安全対策を強化した。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が、何が対象か）

市民・観光客

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

| 指標項目 | 単位 | 21年度 実績 | 22年度 実績 | 23年度 計画 | 23年度 実績 | 26年度 見込み |
|------------|-----|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 市民の数 | 万人 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| B 観光客入り込み数 | 万人回 | 459 | 444 | 472 | 466 | 490 |
| C | | | | | | |

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

平成21年度にギネス登録された世界一のゴムボート川下り大会として、全国にPR活動を展開した。

転覆者を速やかに発見するための監視員の増員，コースにおける危険箇所へ注意喚起を促すための人員配置など，安全対策を強化した。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

| 指標項目 | 単位 | 21年度 実績 | 22年度 実績 | 23年度 計画 | 23年度 実績 | 26年度 目標値 |
|---------------|----|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 募集要項の印刷部数 | 部 | 17000 | 17000 | 5000 | 4740 | 4800 |
| B 告知ポスターの印刷枚数 | 枚 | 1700 | 1700 | 500 | 500 | 500 |
| C | | | | | | |

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

盛岡が有する水の恵みを活かし，自然に親しむ市民・観光客を増やす。盛岡の暮らしを支える水資源の大切さを理解してもらう。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

| 指標項目 | 性格 | 単位 | 21年度 実績 | 22年度 実績 | 23年度 計画 | 23年度 実績 | 26年度 目標値 |
|------------|--|---------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 大会参加者数 | <input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持 | 人 | 2336 | 2304 | 1800 | 1632 | 2300 |
| B 観光客入り込み数 | <input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持 | 万人 回 | 458 | 444 | 472 | 466 | 490 |
| C | <input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持 | | | | | | |

(7) 事業費

| 項目 | 財源内訳 | 単位 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度計画 | 23年度実績 |
|-----|------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | ①国 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ②県 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ③地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ④一般財源 | 千円 | 500 | 500 | 800 | 800 |
| | ⑤その他() | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | A 小計 ①～⑤ | 千円 | 500 | 500 | 800 | 800 |
| 人件費 | ⑥延べ業務時間数 | 時間 | 336 | 350 | 250 | 400 |
| | B 職員人件費 ⑥×4,000円 | 千円 | 1,344 | 1,400 | 1,000 | 1,600 |
| 計 | トータルコスト A+B | 千円 | 1,844 | 1,900 | 1,800 | 2,400 |
| 備考 | | | | | | |

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

盛岡に来なければ体験できない稀有なイベントであり、魅力と実施規模はまさに盛岡ブランドである。訪れてみたいと思ってもらう結果に結びついている。

② 市の関与の妥当性

ブランド開発事業の主要プロジェクトのひとつであり、「価値あるもの」の価値を認識することや、その情報を整理し提供すべき場を設けることは、市が主体となって実施するべきである。

③ 対象の妥当性

30年以上続いているイベントであるが、7割を盛岡市民が占め、9割が岩手県人が占める地域のイベントになっており、その価値については広く国内に知らしめる必要がある。

④ 廃止・休止の影響

30年以上続いている大会であり、市民等に馴染み深いイベントとなっていることから、地域資源を生かした観光・物産の振興の後退を招く恐れがある。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

ギネス世界記録に認定され知名度の向上が見込まれることから、全国に向けて積極的に情報発信をすることにより、参加者と観光客の増加につながる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

受益機会については、参加者に制限（下限年齢・健康上の問題）を設けているが、安全上の制限であり、公平・公正である。また、費用負担についても、参加費用は一律であり、公平・公正である。

(4) 効率性評価

事業の大半を参加料収入と広告料収入、構成団体の負担金が占めており、構成団体の負担金なしでは事業実施は困難である。震災の影響による参加者の減少が単年度で収束するか不透明であることと、他の構成団体からの負担金増額は期待できないことから、継続した支援が必要である。また、人件費については、事務局として盛岡市が担当し、委託での事務処理を行っているものの、企画・運営は事務局の仕事であり、これ以上業務を委託することはできない。

4 事務事業の改革案（Plan）

(1) 改革改善の方向性

- ・ 平成 22 年度の大会において、ダムの放流による安全性の確保困難のため、レースを一部中止していることから、実施に当たっては安全対策を強化し、参加者が安全にレースを楽しむよう、十分な準備を行う。
- ・ 参加者の大半が市民であることから、市外・県外への周知方法を検討しながら、より効果的な周知に努め、市民以外の参加者を増やす工夫が必要である。
- ・ ギネス世界記録を達成し、大会のブランド価値を向上させる作業が一段落したことから、大会を継続・安定的に運営していくため事業の所管部署の変更を行った。
⇒ 商工観光部ブランド推進課から市民部スポーツ推進課へ移管
- ・ 所管部署の変更に伴う、運営体制の再構築を図るとともに、実行委員会構成団体の人的協力を充実させていく必要がある。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

- ・ 今後も大きな収入の増加は見込めず、逆に減少が想定されることから、支出経費の削減・圧縮を行い、収支バランスを確保しつつ事業を実施する必要がある。
- ・ 盛岡ブランド推進の一つと位置づけ、これまで民間企業が担ってきた実行委員会の中核機能を盛岡市が引き受けた経緯があるが、更に市内部で事業の所管部署をスポーツ推進課に移管したことから、盛岡ブランドの推進とともにスポーツ推進の充実を図るための効率的な運営体制の構築に向け、市組織内で関係部署との調整が必要である。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）

□ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

前回の大会の一部中止を踏まえ、安全対策等強化して開催し、無事終了することができた。また、団体部門、パフォーマンス部門の廃止や東日本大震災の影響等による参加者の減少が見込まれたことから、経費の見直し等行い適正規模の大会開催に努めた。

市民以外の参加者を増やすよう、市外・県外への周知方法を検討し、より効果的な周知に努める。また、当該事業の所管部署をスポーツ推進課に移管したことから、盛岡ブランドの推進とともにスポーツ推進の充実を図るための効率的な運営体制の構築に向け、市組織内で関係部署との協議を進める必要がある。